

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市南金田2丁目プロジェクト	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市南金田	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	114 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2023年6月26日
敷地面積	833 m <sup>2</sup>	作成者	生和コーポレーション(株)須口真樹
建築面積	343 m <sup>2</sup>	確認日	2023年6月26日
延床面積	2,920 m <sup>2</sup>	確認者	生和コーポレーション(株)塩谷光生

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.1

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.5

Qのスコア = 2.3

LRのスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	建築物省エネ法に適合させ、建築物の省エネルギー化を図っている。仕上材には耐久性の高い建材を採用し、耐久性を高めている。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	建築物省エネ法に適合させ、住戸の断熱性を確保している。住戸の内装材は全てF☆☆☆☆を使用し、市内汚染を防止している。	Q2 サービス性能 外壁仕上材に磁器質タイルを使用し、躯体の耐久性を確保している。内装仕上材に硬質塩ビタイル、ビニルクロスを使用し、仕上材の耐久性を確保している。
LR1 エネルギー	建築物省エネ法に適合させ、建築物の断熱化、省エネルギー化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
		LR2 資源・マテリアル 特に無し。
		LR3 敷地外環境 建築物省エネ法に適合させ、LLCo2低減を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0031

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市南金田2丁目プロジェクト新築工事						
	建設地	大阪府吹田市南金田						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						1	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.1	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	1	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				1.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.8	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	建築物省エネ法に準拠し、省エネ性能等の向上に努めた						